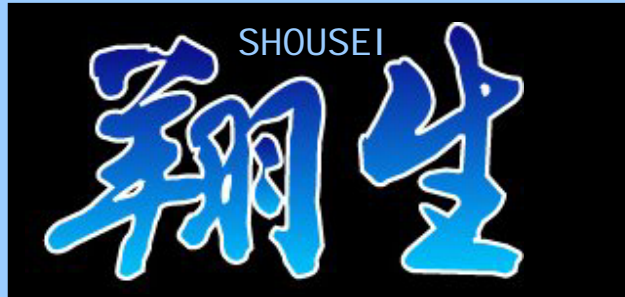




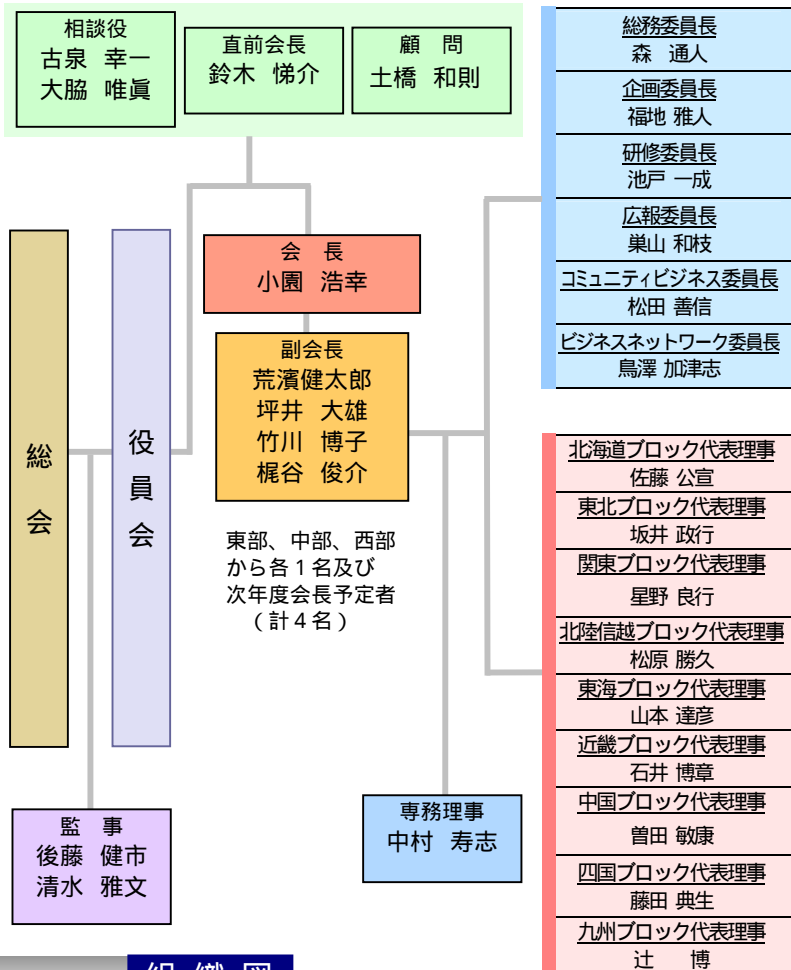
これまで各地商工会議所で使用されている各地商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染みやすいロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。

vol. 39



平成16年 8月号

発行 日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2
日本商工会議所中小企業振興部内
TEL 03-3283-7847 http://yeg.jp/
編集 広報委員会
担当副会長 梶山 俊介
委員長 巢山 和枝
副委員長 鈴木 多 守岡 正彦
委員 南谷 信廣 神谷 成美 尾崎 康司
垣本 佳之 川原 一郎
森 房明 渡美公太朗 服部 一則
北野健太郎 小川 貢 室賀 康史



平成16年度 全国商工会議所 青年部連合会 会長 小園 浩幸

美しい日本を 私たちの手で

大阪府連・高石YEGから出向しております小園浩幸(ごこのひろゆき)でございます。

この春のブロック別会長会議で全国各地の単会の会長さんにお会いし、私の思いの一端をお伝えしてまいりました。皆さんの真剣な眼差しに、YEGの可能性とともに商青連会長という私の役目の重さを改めて感じ、背筋が伸びる思いです。

景気回復基調が報じられる昨今ですが、「自分だけよければ」の世界に逆戻りするのはなく、自己責任を前提として「共に勝てる」思いやりある社会の構築への決心が必要とされています。この国を「美しい日本」に作り直すことの必要性とその実現へのYEGの役割の大きさにも身震いしております。種を蒔き、芽を吹かせ、

そして幹を育ててきた、「美しい日本」を目指す商青連の流れは、本年度、枝葉を増やし、果実を实らせ、そして花を開かせ、そんな大切な時期を迎えていると思えます。今こそ、YEGの精一杯の力が必要なのです。「美しい日本の創造!思いやり、情熱の心で結ぶYEG」をスローガンとして掲げました商青連をどうか皆様の単会の活性化へ、そしてお一人おひとりのYEGのご商売へご活用いただけますようよろしくお願い申し上げます。

まずは、今すぐ商青連のホームページ(yeg.jp)にアクセスして頂き、今、商青連は何を考へ、何をしようとしているのかををご覧ください。そして、それが全国のYEGに対してどのように役立てるのかを徹し目で見極めたいと考へております。毎月1回発行のメールマガジンの購読もお願いいたします。商青連の、YEGの、そしてご自分のご商売に役立つ最新情報を受け取っていただきたいと切に願っております。

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会 会長 小園 浩幸

さらに一方通行の情報ではなく、皆様からのご意見・ご提案をいただけるような仕組みづくりもまいります。商青連は全国各地YEGの皆様により近づいてまいります。そして皆様により広くより深くご理解いただき、どんどんご活用いただけるように最大限の努力をさせていただきます。

さて、いよいよこれから7月の東海ブロック大会(東海)を皮切りに全国各地ブロック大会が始まります。そして11月の帯広での全国大会と、皆様と目にかかれる機会がたくさんいただけそうです。顔を見かけたら是非声をかけて下さい。商売を通じて地域を支えていく役割を持ち、そして次世代への責任を担う私たちYEGが今、しなければならぬことは何でしょうか。時間の許す限り、一人でも多くの方とお会いし、議論してまいりたいと存じます。

日本商工会議所 全国商工会議所青年部連合会 会長 小園 浩幸

組織図

去年、蒔いた種・・・

商青連 委員会 2004

花 咲かせたい

総務委員会



総務委員会では、小園会長のスローガン「美しい日本の創造！思いやり、情熱の心で結ぶYEG」の趣旨に基づき、全国YEGの皆様のご協力を得て、各地YEGのノウハウ・知恵を共有出来る情報の収集と流通の仕組み作り(エンジェルタッチ)を行います。また、今年で、第4回目となる「YEG大賞」も、皆様により参加しやすく、単会のお役に立てるスタイルの構築を目指し、がんばって参ります。一年間、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

専務理事 中村 寿志 委員長 森 通人 副委員長 五十嵐 順 森 克容 理事 柳 明彦 石川 勝康 遠藤弘一 池田一平 落司ひとみ

研修委員会



研修委員会は「ビジネスプランコンテスト」「ヤングリーダー研修」「翔生塾」などの研修事業を通して、「美しい日本の創造」を目指すための高い「志」と「経営スキル」を身につけた経営者を生み出していくことに貢献したいと思っています。また、各地での研修事業開催の役に立つ「研修事業のデータベース」の構築を目指し、単会・県連・ブロックのための商青連になるように努めたいと

と思っています。自信をもってお勧めする研修事業ばかりです。参加しましょう！

副会長 坪井大雄 委員長 池戸一成 副委員長 小林均 富永晃可 理事 松本克也 城所 孝 大浦 崇 古田裕三 専門委員 浅野達也 大澤寿伸 今泉教夫 伊藤幸蔵 中村泰之

コミュニティビジネス委員会



三年目を迎えた当委員会は、これまで同様にコミュニティビジネスを理解していただき、青年部が行う優位性を各単会・ブロック・県連大会等に於いて啓蒙活動を続けております。又、7月の東海ブロック(B)を皮切りに、東北B・北陸信越B・中国Bで分科会を行いますので、是非にご参加ください。タイトルは

「始めよう！コミュニティビジネス！」です。昨年立ち上がった商青連全国コミュニティビジネス協議会とも連携をとりながら活動をしていきます。ご意見や問い合わせなどいつでもお聞かせください。

副会長 梶谷俊介 委員長 松田善信 副委員長 日野雅晴 林 隆男 理事 新沼英明 杉本 敬 国吉康夫 恒賀裕司 専門委員 高橋 正 笠原健一 成島康之 鈴木大介 源 哲弘 常川雄次 高原裕一 荒賀 正 原田重幸 小野義信 佐々木篤 松浦修士 津崎幸三 田町まさよ

企画委員会



企画委員会は商青連が主催する全国大会、全国会長研修会、各地ブロック連合会との共催事業であるブロック大会を担当します。参加した青年部会員が「感動した」「楽しかった」「勉強になった」と感じてもらえるような大会を主管地青年部と一緒に作り上げますので、各大会への積極的な参加をお願いします。各種大会に参加することでの交流と親睦から、新たなビジネスチャンスを探り取って下さい！

副会長 荒濱健太郎 委員長 福地雅人 副委員長 仁枝重樹 井上和宣 理事 國枝恭二 尾崎 仁 上田健一郎 土井利昭 牟田勝浩 則貞純純

広報委員会



広報委員会は毎月のホームページの更新とメールマガジンの発行、日商の情報誌「石垣」の青年部ページの編集、青年部の広報誌「翔生」の発行、各種メディアからYEGブランドをアピールしその認知度を高める活動等をしております。地域経済の活性化や文化の発展に寄与し、新しいビジネスチャンスを獲得できるよう全国約3万人の仲間の情報を共有しネットワークで結びつと共、思いやりと情熱の心を結びたいと思います。

副会長 梶谷俊介 委員長 巢山和枝 副委員長 鈴木 多 守岡正彦 理事 南谷信廣 神谷成美 尾崎康司 垣本佳之 川原一郎 専門委員 森 房明 渥美公太郎 服部一則 北野健太郎 小川 貢 室賀康史

ビジネスネットワーク委員会



ビジネスネットワーク委員会では、昨年度に構築された「ご縁満開YEGビジネスサイト」をより使いやすいサイトにして利用者を増やすと同時にWebだけでなくFace to Faceで話せる場として「ビジネス交流会」を開催します。また、既に単会や県連等、各地で行っているビジネス交流などをホームページ等で全国に向け発信します。より具体的なビジネス交流が行なわれる様に、全国3万人の会員に情報発信することを目的に活動を展開します。

副会長 竹川博子 委員長 鳥澤加津志 副委員長 萬谷哲男 大谷辰夫 理事 伊藤康朗 福島章弘 宮本 俊 佐久川英雄 専門委員 菊地勝美 森重善隆 岩本和博 小池賢治 平田一彌 中尾晃司 野田雅之 神谷 篤 汐崎まこと 西多寛明 林 靖浩 前原嘉孝

山口会頭と小園会長率いる商青連役員との座談会が去る6月9日(水)日本商工会議所にて行われました。YEGの今年度の取り組みの説明と協力の要請、現在の日本経済や地域づくりの問題点を踏まえた会議所としての展望、そしてそれに伴う青年部に対する具体的な要望がなされ、大変有意義な会となりました。

小園 昨年は鳥取県米子で開催しました全国大会にご参加いただきましてありがとうございます。今年は北海道帯広です。皆さん心待ちにしておりますので、今年もぜひご参加をお願いします。

山口 全国から集まるチャンスですからね。ところで商青連の皆さんにはいろんな小委員会に参加していただいていますね。

小園 非常にいい勉強をさせていただくと共に私どもの活動報告の機会をいただき、ありがたく思っております。商工会議所とYEG青年部がもっと協力し合うような関係が作れたらと願っていますので、各地の商工会議所や日商には、もっと青年部を活用していただきたいです。15年度は事業や活動の種蒔きの年でいろんな仕組みをしながら考えて活動しました。16年度はその時いた種を育てる年です。

鈴木 16年度の委員さんが一生懸命やって下さっているので、私としては大変幸せだなと思ってます。去年は初めてビジネスプランコンテストをしました。コンテストすること自体が目的ではなくて、そこへ向けて全員がもう一度ビジネスの勉強をしようということ、それが、『第二創業塾』とうまくつながって流れが出来始めてきましたね。

【第二創業塾】…新事業にチャレンジしたい二代目経営者や若手後継者、新事業を展開したい経営者を対象に、経営戦略、組織マネジメントなどの知識ノウハウの体得を支援するため、各地商工会議所と日本商工会議所が開催する講座。

山口 『第一創業塾』というのは考え方が本当に良かったですよ。名前もいいですね。人材やブランドを活かしながら、これまでの事業を土台に新しい方向性を打ち出す第二創業のほがが、新規創業よりもやりやすいです

から。

篠原 『第二創業塾』の種を蒔いたのは、昨年、ビジネスプラン作成の研修会

を実施した商青連の皆さんです。政府予算もいただいて本格的にやっついでいこうということ、日商としても各地商工会議所ともども事業を育てていきたいと思っています。

山口 何でも計画するまでは出来ませんが、予算をつけて実行し、形にするにはエネルギーが必要ですよ。最後は馬力です。

小園 この事業は今年も引き継いで行きます。この6月にスタートしました『ヤングリーダー研修会』を第二創業塾として予算を使わせていただきます。

坪井 この研修会は商工会議所の皆様と中小企業庁にバックアップをいただき昨年スタート出来ました。我々青年部と言いつつ、そこそこ年齢ですので、中には息子さんやお嬢さんが家業に加わっているメンバーもいます。また東京の大学にはビジネスプランを考えるサークルもあります。今年是对象の範囲を広げて、そういう人たちにも門戸を開くことを考えています。賞金にこだわらずに、勉強と思って出していただけのような環境を作ろうと思っています。

小園 ビジネスプランコンテストをイベントの延長線で終わらせないためにも、研修委員会では、グランプリを選ぶだけでなく、ご応募いただいたすべての人たちに對して、計画を成功に導くには、どのようにすればさらに良くなるか、細かい点までフォローアップできるような体制を作ろうとしています。そうすることで次に本当に計画性のあるきちつとした事業が出てくるのではないかと思っています。

山口 創業してすぐ成功するということは少ないから時間がかかるでしょうね。けれども、我々の経験からすれば、苦労した事業ほど立ち上がってからは強いですよ。先行するのは大変なことだから、それを助けてあげないと。創業時だけではなく成功するまでの間の手助けが必要ですね。

竹川 青年部会員の事業を支援する事業としては、「縁満開YEGビジネスサイト」もあります。これはインターネット上で全国の会員を対象にビジネスの交流を図ろうという去年からの継続事業です。今全国で700社程の登録をすでにいただきまして、サイトのアクセス数もだいたい1か月に1万件あります。全国に3万人弱の会員がおりますので、今年ももっともって活性化をしていきたいと思っています。すでに結果も出ておりまして、いろいろビジネスでマッチングに成功した事例もございます。私自身もサイトで自分のお客さんになろうかというところを探索して実際にアプローチをかけて、56件のお客様をゲットしました。(笑)



鈴木 例えば、自分はこんな工場があって、こんな機械を持っているんだけど、何か商品のアイデアくれないかとかです。自分はまだ東北地方に代理店がないので、誰かやってくれないかとか。「ビジネス出会い系」と言っています。

竹川 ビジネスに直接関係のあるなしに問わず悩み事や相談事の書き込みなど出来るようになってくるんですけども、そういう一つの書き込みに対してですね、1千件近いそれに対する意見が来たりしています。

坪井 青年部のメンバーだけのサイトなので、安心感がありますよね。近くの同業者は、ライバルになりますけども、遠くの同業者というのは、非常にいろいろ指導いただけたら、そういう間柄にもなります。



力を合わせて、自分たちの町を、活気のある商店街を、もう一度取り戻しましょう。 しなればならないことは沢山ありますよ。

山口信夫
日本商工会議所会頭

小園 自分の本業をしつかりやっているから、地域の活動も出来る。青年部の独自の強いネットワークを使うことによって、自分のビジネスに対しての磨きがかかっていると思います。

山口 今、製造業立地の空洞化や商店街のシャッター通り化が非常に大きな問題になっています。海外での製造業立地は、ピークは過ぎましたね。加工などは、人件費の安い海外へ持って行くけれども、大事なも

は大型店やチェーン店なども商店街に協力しなければいけないという条例を作りました。罰則がないので話し合いで進めるのですが一歩前進です。時間がかかりますがね。

篠原 今年から、会頭を先頭にこうした問題にこれまで以上に力を入れて取り組みます。青年部の皆さんにお願したいのは、商業関係の方は、中心市街地に住まいも構えていただきたい、ということですね。



山口 信夫（日本商工会議所会頭）
篠原 徹（" 常務理事）
小園 浩幸（全国商工会議所青年部連合会会長）
鈴木 悌介（" 直前会長）荒濱健太郎（" 副会長）
鈴木 大雄（" 副会長）竹川 博子（" 副会長）
坪井 俊介（" 副会長）中村 寿志（" 専務理事）

山口 自分たちの町をもう一回きれいに町の町を歩きながら、商店街を回って歩けるようにするのが願いです。そのためには、親父が死んだら相続税を払うために店が継続できなくなるというのでは困るので、事業承継税制を変えないといけないですね。いろいろやることは、たくさんありますよ。商工会議所のエネルギーあふれる若者が、力を合わせて主張しないと。

は日本で、技術をクローズにして、国内で中小企業と共同してやっていくという方向になっています。

問題は、商店街のシャッター通り化、大型店との関係ですね。今は自由競争そのものですよ。地方では、農地を潰して駐車場にし、そこに大型店舗が次々とでき、大型店舗同士の競争が始まっています。一方、

商店街では若者がお父さんの後を継がないで、サラリーマンになってしまいます。シャッター通り化した商店街は元に戻らなくなりません。大型店には企業としての社会的責任を意識してもらい、街の商店街とお互い棲み分け、共存を図ってもらわないといけません。その街の歴史、伝統、文化を若者が引き継いで守っていくことは非常に大事です。東京の世田谷区で

経験談や具体的なアドバイスが得られるように考えています。いかにいろんな団体とネットワークを組み、試行錯誤していくかが、今後地域活性化には重要になってくると思います。

今までは、どちらかというと、大店舗との絡みも、商売上の話し合いでしたが、これからはまさに地域をどうするんだという視点から行う必要があります。しかも、地域づくりはボランティアでは長続きしないので、商売としてやれるような仕組みを、いろいろな人の協力も得ながら作ってきたいです。

特に今後、高齢化が進みますと、リタイアしている人でも、働ける人はたくさんいますから、そういう人も巻き込みながらビジネス化をやっていくようなことを考えています。いろいろな補助金の情報なども発信して活性化していけたらと思っています。

山口 地域の課題を解決するには会議所の組織を強くしなければいけません。青年部も同じです。自分の事業をしつかり行った上で、そういうことも出来る力を持った人がたくさん入ってくるといいですね。

小園 私たち商青連という全国にネットワークを持つグループを、商工会議所でも使っていたらいい。そして、まだ青年部が設置されていない商工会議所には、「これからの時代、青年部がない商工会議所はもうやっていけないですよ」というぐらいの気持ちで、どうか設置の働きかけをお願い致します。

鈴木 商青連の加入に関してですが、着実に各地の会議所にはご協力いただいています。去年も新規の加入は5つありました。**山口** 青年部出身の商工会議所の幹部、国會議員や県會議員もおられます。青年部はさまざまな経験を積める場だから、先代の元気なうちに経験を積んで、出来るだけいい方向で組織が強くなっていくって欲しいですね。**全員** 本日は本当にありがとうございました。

会の事業のコンテストがあるのですが、応募作品に、チャレンジショップや空き店舗を利用して地域活性化を目指したものがかなり増えてきています。NPOや組合方式など、いろいろな形で立ち上げるのですが、そのサポートも出来なくてはならないということ、昨年暮れに商青連全国コミユニティビジネス協議会という別組織を立ち上げました。

梶谷 経験を積んでいる人とこれから立ち上げようとする人との出会いの場を作り、

組織力を強化するために全国をネットワークでつなぎ、さまざまな仕組みを作っています。こんな私たちYEGをもっと使って下さい。

小園浩幸

全国商工会議所青年部連合会会長



ブロック別会長会議はこんな内容の会議でした

小園会長が所信に込めた思いを熱っぽく語りました。



商青連の事業を昨年の事業報告ビデオにより紹介し、各委員長または委員会メンバーから委員会事業について説明を行いました。

エンジェルタッチの説明会を実施し、各単体会長と事務局に専用のアカウントを発行しました。今後、単会と商青連で情報を共有する強力な情報インフラになります。

ご縁満開 Y E G ビジネスサイトの説明会を行いました。Y E G の仲間にクローズされたビジネスサイトで、利用が増えることで大きなビジネスチャンスを生んでいく可能性を秘めています。

単体会長、県連会長の皆様と商青連会長・役員との間で質疑応答を行いました

ブロック別会長会議で次のような質疑応答がありました。

Q . 商青連への出向補助金が県連や単会にとって負担であるが、どう考えるのか？

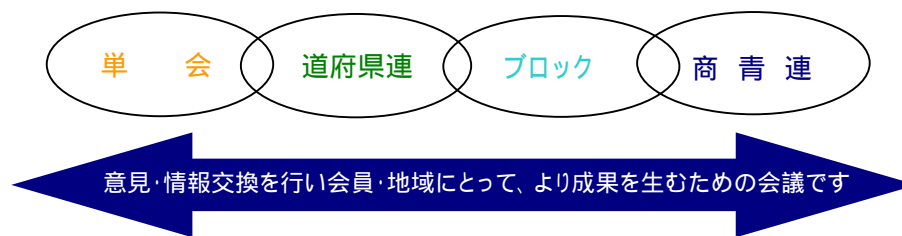
A . 商青連としては、大きな負担をしてもらいながら出向して貰っていることに対して、会員や出向者の為になる事業内容としなくてはいけないと考えている。出向者は費用・時間とも大変なことだとは思いますが、県の代表として、また、全国三万人の会員の代表としての認識に立って負担をお願いしたい。商青連としても負担を軽減する方法について情報収集を行い、お知らせしていきたい。

ブロック別会長会議は、ブロック連合会総会とは別会議で、春と秋の年2回、全国9ブロックで開催されています。商青連会長より商青連のスローガン、会長所信、運営方針、重点施策などについて説明があり、各委員会より委員会事業計画及び進捗状況報告などが行われます。

< 目 的 >

年度毎の商青連事業説明や質疑応答でお互いの情報を交換し、相互理解を深め、連携を強化させることによって、それぞれの事業推進に寄与することを目的としております。商青連の役割で一番大切なもののひとつに、単会、そしてその連合体である道府県連、ブロックという各地 Y E G 活動が活発化し、成果があげられるように皆様の役に立つお手伝いをする事だと思っているからです。

< 主催者 > 商青連とブロック連合会の共催 < 召集権者 > ブロック代表理事



Q . 「エンジェルタッチ」のアカウントについて単会等で導入して個人のアカウントを取得するにはどうしたらよいか？

A . 単会で「エンジェルタッチ」を導入すると単会の担当で個人のアカウントを発行することができます。単会でアカウントの発行作業ができないときは有料にて請負ってくれます。

Q . 「ご縁満開 Y E G ビジネスサイト」は青年部を卒業しても使用可能ですか？

A . 卒業しても使用可能です。規約がありますのでご覧ください。



Q . 市町村合併により面積、人口とも大きくなるが青年部として何もしなくても良いのか？何か良い事例やアドバイスがあれば教えて欲しい。

A . 市町村合併によって必ずしも商工会議所（商工会）が合併するとは限らない。

事例としてはさいたま市が合併した際、3つの商工会議所が合併し、青年部も合併した。

Q . 県連で「エンジェルタッチ」の導入促進を考えているが指導してもらえますか？また他の県連での事例はあるか？

A . まず単会への普及を目指し、それから道府県連、ブロックへ進めていきます。「エンジェルタッチ」は無料なので是非積極的に普及を促進していただきたい。

「ご縁満開 Y E G ビジネスサイト」の登録は A T と同じアカウントが必要ですので、普及のため単会に出向いて説明を行っています。既に20単会に説明をすませました。必要であれば出向きますので、そちらからの指導も考えられます。

Q . 平成17年度全国愛知大会の開催時期が7月に前倒しになった理由を教えてください。

A . 商青連としての立場や規約はあるが、国家的プロジェクトへの賛同と日商会頭への協力、さらには全国大会や会員総会のあり方そのものを見直すきっかけづくりであると判断した。前倒しによって想定される問題点より、国家的プロジェクトと連携することによる可能性を選択した。

Q . パーチャル総会が必要か？

A . 総会は年2回しかなく会員の意見をとり機会が少ない。会員の意見を集めるためにも必要と考えている。

昨年は試験的に行ったが、来年以降については今年の様子をみて検討する。



7月より10月まで各ブロック大会、11月には北海道帯広市で第24回全国大会、来年2月には岡山市で第22回全国会長研修会として7月には万博で賑わう愛知県豊田市で第25回全国大会と、

LET'S GO!!

全国を股にかけた大会が目白押しです。勉強会あり、ビジネス交流あり、講演会あり、もちろん懇談会あり・・・各大会、工夫を凝らした盛りだくさんの企画で全国の仲間をお待ちしています。

全国大会と全国会長研修会のチラシもうご覧になりましたか？



2005年
7月7日
~10日

第25回全国大会
愛知大会
詳細については
乞うご期待!!

東海ブロック 東海大会

7月23日・24日

みせます。東海の心粋

東海ブロック代表理事 山本 達彦



四国ブロック 観音寺大会

9月4日・5日

がいげにいかんきゃ若衆

四国ブロック代表理事 藤田 典生



北海道ブロック 歌志内大会

9月18日

尖鋭結集！将来に向かって

北海道ブロック代表理事 佐藤 公宣



日本一周の旅

東北ブロック 大船渡大会

8月20日・21日

黄金の岩手で
さあさあお祭りだ

東北ブロック代表理事 坂井 政行



中国ブロック 平田大会

9月10日・11日

ここからはじまる
五縁伝説～神々の里 平田～

中国ブロック代表理事 曾田 敏康



北陸信越ブロック氷見大会

10月6日・7日

元気・勇気・本気
めざせ時代の出世魚

北陸信越ブロック代表理事 松原 勝久



ブロック大会で

近畿ブロック 吹田大会

8月28日

今こそ、新たな“人類の進歩と
調和”が未来を切り開く！

近畿ブロック代表理事 石井 博章



関東ブロック 上尾大会

9月16日・17日

【en】～YEG から始まる
無限の可能性～

関東ブロック代表理事 星野 良行



九州ブロック 北松大会

10月8日・9日・10日

挑戦
夢をかたちに変えるため

九州ブロック代表理事 辻 博



開催地
決定

第26回(平成18年度)全国大会開催地
主管 大分県商工会議所青年部連合会
開催地 大分県大分市
第23回(平成17年度)
全国会長研修会開催地
主管 登別商工会議所青年部

新会員紹介コーナー 7月役員会終了時点で商青連加入単会数は400単会となりました。

石狩YEG(北海道) 4月役員会で承認
(小山 聖 会長)
さいたまYEG(埼玉県) 5月役員会で承認
(齋藤 博一 会長)
三木YEG(兵庫県) 7月役員会で承認
(藤原 尚志 会長)

5月27日 石狩YEGを表敬訪問。
石狩商工会議所の渡辺事務局長、石狩YEG小
山会長他6名の方々と懇談を行い、小園会長か
ら小山会長にバッジの授与を行いました。
石狩市が市に昇格したことによる商工会議所設立に伴
い発足した今年で4年目の若い単会です。商工会青年
部からの発展で誕生しました。
商青連加入2年目の平成17年には北海道ブロック大
会を主管されます。商青連加入で各地との連携をさら
に強めることを熱く語られました。

7月7日 さいたまYEGを表敬訪問。
さいたま商工会議所平田常務理事、さいたまY
EG齋藤会長他10名の方々と懇談を行い、齋藤
会長にバッジの授与を行いました。
大宮YEG、浦和YEG、与野YEGが合併して今年
4月に誕生したYEGです。
合併に伴う課題も前向きに克服され、発足記念事業と
して政令指定都市のYEGに友好青年部の調印締結を
働きかけ、同じ課題を持つYEG同士の連携を実践さ
れています。会員拡大も順調に進んでいて、大人数、
広域のYEGとしての組織運営を工夫されています。

今後も新会員のところへは小園会長が表敬訪問
をいたします。

ようこそ
商青連へ

新しい仲間が
加わりました

YEG大賞

全国の優秀な事業を紹介。 昨年度の最優秀は竹原 Y E G 「楽市楽座」

「楽市楽座」プロジェクトは、国と市の補助を受けて幅広い団体と連携し年間を通じた事業を展開した。駅前商店街の空き店舗対策は、地元のフリーペーパーの広告枠を無料で使える特典とセットで店舗を日割りで貸し出した。これまで四カ所に広がり、服飾店や楽器店など延べ約四十の会社・個人の利用があった。（中国新聞地域ニュースより抜粋）

「第3回 Y E G 大賞受賞のよろこびから本年の取り組み」

この度は、商青連第3回 Y E G 大賞の栄えあるグランプリを受賞させていただきました。誠にありがとうございます。関係各位の皆様には心より感謝申し上げます。お陰をもちまして我々竹原 Y E G も受賞以降、各方面からの取材や視察の対応に東奔西走している毎日です。なにより地域の方々が以前とは比べものにならないほど関心を持ってくださるようになり、メンバーの意識向上にも繋がりより活発な組織体制ができつつあります。

本年は、継続的な「楽市楽座」の安定運営を図りつつ、新たな方向性へのチャレンジを模索してまいります。そこで「ぶちええ竹原」という名称（「ぶちええ」とは広島の方言で、すごく良いという意味）で、まち全体を

ブランド化することです。きっかけは、竹原 Y E G が2年前から事業展開している、地域ボランティアや生涯学習などで活動する人を称え表彰する事業があり、その名称を「ぶちええ竹原」と名付け、竹原が好きで竹原のために頑張っている人をもっと皆さんに知ってもらいたいという思いから実施しているものです。その考え方を商品やサービスに置き換え、話題性から集客性に結びつける仕組みづくりの構築を目指してまいります。

故郷を愛する思いを一つにして、まちの活性化を切望すべく竹原 Y E G は常に前を向いて歩いて行きます。

竹原商工会議所青年部 会長 岡本達典



Angel Touch log-in page
ログインページ

昨年度より商青連で導入しているグループウェア「エンジェルタッチ」も二年目に入って、総務委員会を中心に、本格活用を努めています。売りは「電子会議室」そして「スケジュール管理」。実際全国の単会会長によるWEB会員総会の試験使用も、去年度には実施済。今年は全単会の参加促進のため説明会等も実施中です。まだまだ使い勝手が悪いとおっしゃる方の貴重な意見も随時募集しています。特に今年の会長の皆さんにお願いします。春の会長会議にてお知らせいたしましたアカウントとパスワードで必ずログインと、ご参加をお願い致します。



さあ、クリック、クリック！！

平成15年7月鈴木会長の年に肝煎りでスタートした「ご縁満開 Y E G ビジネスサイト」はこの7月5日現在で、すでに708社の青年部会員の登録があり、盛んに交流を行っています。例えば最近のビジネスでは「ビッグチャンス!! 新しい大型需要をゲットできます。企業間連携しませんか? 今、ダイオキシンの新しい大型需要(数百兆円)が発生しております」という投稿に多くの資料請求がありましたし、もっと明快に「一味七味専門店より」と案内がありました。どんなビジネスチャンスがあるかもしれないし、同じ全国の会員の心意気が直に伝わってくるサイトです。一度ご覧下さい。http://yeg.jp/ で青年部の会長の顔の下にある上の絵をクリックしていただければどんな所が見られますよ。その後はエンジェルタッチと同じアカウントとパスワードをゲットして、さあビジネスに参加してみてくださいね。

YEG 事業

気になる
その後

“木質廃材活用による 新エネルギービジネスプラン”

事業概要 建築業等から排出されている地球環境にとって負の存在である“木質廃材”をバイオマスエネルギーに変換し、化石燃料の使用削減による地球温暖化の防止に寄与する事を目的に取り組む事業です。自然の摂理に根ざした資源循環・エネルギー循環のシステムを地域社会の中で産業として経済循環させることによって構築させます。

その後の進捗状況 有限会社ノルドファブリカ 永桶裕明(美唄 YEG) 大村利和(宮津 YEG)

現在、北海道美唄市において今年10月の稼動を目指してバイオマスプラントの建設準備を進めています。又、木質バイオマスによる暖房と雪冷房システムによる冷房を組み合わせた自然エネルギー冷暖房システムマンションの設備計画を進め、実証データによる裏づけも計画しています。4月に日経ベンチャーの新連載記事の第一号として取材していただき、その影響もあって全国から多くの問合せや、北海道と京都府を中心に地域での団体からの講演依頼等もあり、永桶と大村でそれぞれ講演やご説明をさせて頂いております。又、これまで表面化

されていなかったバイオマス事業への取り組みを模索されていた非常に多くの方々からボランティアとしての我々の動きに注目されている事が、実感として感じられます。さて、気になる賞金300万円の行方ですがプラント建設等の設備資金や運営資金などには使用せず、大学研究機関との木質バイオマス燃料に関する共同研究費に1/3程使わせて頂きました。せっかく頂いた賞金を消費させるのではなく、国家のエネルギー問題や地球環境問題に寄与する事のできる技術の一端を我々の事業を通じて開発できれば、その賞金が後世に何万倍、何億

ビジネスプラン



コンテスト

倍もの価値となって国家・社会に還元できるという“経済循環”という思いを持って使わせて頂いています。綺麗事に聞こえるかもしれませんが、私たちノルドファブリカが目指しているものは、日本における循環型社会の構築であり、儲けるためのビジネスではなく、理念を遂行するためのビジネスという理想像でもあります。だからこそ異業種である二人の男が理念と志の共有という形で挑む事ができるのだと思いますし、初代グランプリを与えられた者の使命だと思います。

日商 事務局

いつもお世話
いただいている
方々です！



土橋和則 商青連顧問・日商中小企業振興部長
静岡県富士市出身 千葉県在住

高野晶子 商青連事務局・日商中小企業振興
部主査 青年部事業担当 福
岡県福岡市出身、東京都在住

関口正俊 商青連事務局・日商中小企業振興部
商青連担当 埼玉県日高市出身 趣味は野球とサ
ッカー（を見ること）

佐藤健志 商青連事務局局長・日商中小企業振興
部課長 青年部事業全般担当 横浜市出身、小
田原、小松、浜松市に居住

嶋田恵 商青連事務
局・日商中小企業振興
部 青年部事業担当 大
阪府高槻市出身 千葉
県在住

岩立ゆかり 商青連
事務局・日商中小企業
振興部 青年部事業担
当 埼玉県八潮市出身
埼玉八潮市在住

／編／集／後／記／

平成16年度小園会長率いる
商青連では、「美しい日本の
創造！思いやり、情熱の心で
結ぶYEG」をスローガンに
掲げスタートしました。「翔
生も印刷配布から商青連H
Pでのダウンロード形式に
なって目にしなくなりました。」

と言う方が多いのではない
でしょうか。今回の翔生39号
はペーパー版でも出してい
くという広報委員長の方針
の下、今までの原稿を依頼す
る形から取材を取り入れた
内容に変わりました。美しい
日本とは、目に映るものだ
けでなく、人の心、行動、日
本古来の伝統など多岐にわ
たるものだと解釈しました。
PC上でなく紙面で読むこ
とも今のインターネット社
会では大切なことなのかも
しれませんね。取材はE・メ
ールでしたが、（神）



「大阪府連」 仲良し単会 サークル 野球交流 守口門真 八尾 吹田 北大阪

去る5月30日（日）炎天下、大阪府八尾
市某球場において四つの単会交流の軟
式野球の会が行われました。ユニフォー
ムはばらばらですが、各チーム団結力が
あります。熱戦につく熱戦の末、北大阪
YEGが優勝。懇親会ではパーベキユー
で話の花が咲きました。もともと会長有
志で話が弾み、昨年末に寒い雨の中第一
回目を開催して、その輪が広がった二回
目の会で、すでにこの秋三回目をと計画
されています。今年、近畿ブロック大会
が吹田で行われますが、万博球場で近畿
決戦をという話題もありましたが、時期
尚早ということで提案を見送りました。
この野球、各単会での盛り上がり役に
立っており、委員会活動が今まで以上に
活発になったと評判です。サッカーでは
すでに全国大会がご案内されています
が、みなさんの単会でもスポーツを通じ
ての委員会、単会盛り上げの一助にされ
たいかがでしょう。

今年も開催決定！！

募集

第4回YEG大賞

【締切】
平成16年11月30日（火）
24:00まで

8月下旬より募集開始！！

YEGが取り組む素晴らしい地域事業。
皆さんのガンバリを、全国の仲間
にお知らせしたい。
小さな事でも情熱あふれる事業大歓迎！！

今年開設される
「YEG 事業データベース」より応募出来ます。
詳しくは
http://yeg.jp/2004/chart/general_affairs/yeg_glandprix/
商青連HPにて、お知らせ致します

入選したビジネスプラン
を、多面的なセミナーや
指導で一流の専門家がパ
ックアップします。入選
しなくても、応募された
応募して
参加して
飛躍しよう！
すべてのビジネスプラン
にアドバイスをフィード
バックします。こんなチ
ャンス見逃す手はないで
すよね！

第2回 YEG ビジネスプランコンテスト

8月2日（月）より募集開始！！

ご自分の事業
いっちょ本気
出してみませ
んか！！

【締切】
平成16年
10月29日（金）

詳しくは <http://yeg.jp/>
商青連HPにてお知らせいたします。

守口門真 YEG の巻

このコーナーは
昨年亡くなられた
森田大阪大会会長
が単会の会長のと
きに始まりまし
た。「守門 YEG の
ホームページを飾
った栄光のユー
ジー達 人生は筋
書きの無いドラマ
だ。そして誰もが
たった一話のドラ
マの主人公だ。自
分の為に朝日が昇
ると思ったときも
ある。沈む夕日に
涙したときもあ
る。笑顔の向こう

人気の単会ホームページ <http://www.neti.com/mk-yeg/>

の九十九折れの人生
の色模様をどうぞお
楽しみ下さい。」と、
単会のメンバーをユ
ニークに紹介してい
ます。そして六月に
ユージーに輝かれ
たのはなんとその森
田氏のご子息、森田
祐輔さんというめく
り合わせでした。各
単会のホームページ
にも参考にされては
いかがでしょうか。
あなたの単会の自慢
のホームページを広報委
員会へお知らせ
下さい。

人 気
覗いてみよう！
単会HP